

大徳中学校だより 12月号

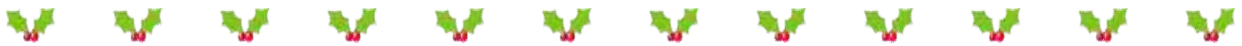
令和3年12月6日

金沢市立大徳中学校

校長 水野泰夫

「あと少しだけ」の気持ちで力をつけよう

12月2日(木)の全校集会で、校長先生から今年の残り1ヶ月をどんな心構えで過ごすよいかというお話がありました。たくさんの世界チャンピオンを育てたボクシングトレーナーのエディー・タウンゼントさんの教えが紹介されました。「もうやめよう」と思ったとき、「あと少しだけ」と思って練習することで、世界一になれるか、なれないかの差がつくそうです。みなさんも、毎日の勉強や部活のとき「あと少しだけ」という気持ちをもって取り組んでください。それを繰り返すことで力がついてきます。そして今年の初めにたてた目標を達成出来るように12月を過ごしてほしいと思います。



人権週間

1948年12月10日に国連第3回総会で「世界人権宣言」が採択されました。この12月10日を世界人権デー、それまでの1週間を人権週間としています。

人権とは、一人ひとりが生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利のことです。人権週間とは、一人ひとりの違いを個性として認め合い、それぞれの良さをうまく生かすことで、お互いがかけがえのない大切な存在であることを改めて理解する期間となります。自分たちの周りで、一人ひとりが大切にされているかどうかをもう一度見直してください。一人ひとりに居場所がある、一人ひとりが大切にされる、そんな学校にみんなの力でいきましょう。



国際交流集会

12月3日(金)に国際交流集会が行われました。大徳中学校はアメリカのシアトル市の中学校と長く交流を続けています。昨年度からコロナ禍ということで派遣というこれまでのような交流は出来ていませんが、手紙や動画を通じての交流を続けています。今回、ロバートイーグルスタッフミドルスクールから学校紹介の動画が届き、集会で披露されました。また、ペンパル募集のお知らせもありました。この機会にぜひ手紙で交流をしてはいかがでしょうか。



12月の目標

生活目標： 思いやりの心をもって、平等に接することができる生徒になろう
【重点目標】 お互いの良いところを認め合おう

学習目標： 授業で学習したことを自分の言葉でまとめよう